

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	五島市イングリッシュキャンプ			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	五島市	学校教育課	小嶋 裕紀子	0959-72-7801
事業期間	開始年	平成26年4月1日 (2年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	【キャンプ実施期間】(開始日) 27年7月31日 (完了日) 27年8月3日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	五島市の中学1~3年生20名 ※英検4級程度の英語力を有する生徒		<p>五島の子供達を世界で通用するグローバルな人材に育てる「プロジェクトG」の一環として、英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とする。</p> <p>前回の奈留中学校の生徒のモニタリングを受け、五島市内の中学生に参加者を広げ、英語を使う機会を提供し、コミュニケーションを図る楽しさを実感させ、英語に対する学習意欲の一層の喚起を図り、国際社会にこぎ出そうとする意欲や志を高めることを目指す。</p>	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<p>五島市イングリッシュキャンプでは、3泊4日ハウステンボス寮に宿泊し、ジャイロスコープという企業の英語を使った体験活動プログラムに参加する。ハウステンボス周辺のイングリッシュスクエアという英語体験ゾーンやハウステンボス内で出入国審査やハンバーガーショップでの模擬体験、外国人コーチと様々な交流を図る。また、キャンプ初日と最終日は外国人コーチと英会話テストを実施し、英会話力の変化を体感するプログラムにも参加した。</p> <p>今回は、五島市内のALT2名、小学校教諭から1名、中学校教諭から1名同行し、さらに、大学生ボランティア8名も参加した。大学生ボランティアは、日本人2名、韓国人3名、中国人3名で、五島の紹介を英語で行い、文化の交流を行った。また、サポートを得ながら、プログラム参加以外の時間に英語を使って、五島市CMを作成した。</p>			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	<p>(事業開始の背景)</p> <p>文科省より平成32年度をめどに、外国語活動の導入を小学校3年生に早め、小学校5年生からは教科化するという方針が出された。五島市では、アクションプランの一つである「島を託す子供達」が将来、グローバル社会で通用する人材に育つよう、「プロジェクトG」と銘打って小学校1年生からの英語教育を市内小学校の6校がスタートさせたところである。本事業を通して、小学校から英語教育を受けてきた中学生に英語を使う機会を提供し、コミュニケーションを図る楽しさを実感させ、英語に対する学習の意欲の一層の喚起を図り、グローバル社会にこぎ出そうとする志を高めることを目的としている。</p>			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）			565,320	972,327					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金		452,256	777,861					
	一般財源		113,064	194,466					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	五島市イングリッシュキャンプを通して、英語学習への意欲が高まった生徒数	アンケートの実施	20名	目標		100	20	
					実績		100	20	
					目標達成率(%)				
	②				目標				
					実績				
					目標達成率(%)				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)	
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input checked="" type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス		
	(2) 行政関与の妥当性評価			(3) 廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 			(影響内容、程度等)

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		外国人コーチや大学生ボランティアとふれあい、活動をともにする中で、英語の有用性を実感することができたため。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 開催地、プログラムの内容を見直し、さらなる充実を図る。	
	実施予定 期 日	平成 28 年 8 月		
	(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
	<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		国際理解教育を充実させるために、行政が担うべき事業であるため。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		子ども達に英語や外国人、異文化と触れあうことのできるきっかけづくりとして本事業を実施しており、市としても財源確保に苦慮しているため。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
実施(予定)時期						
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下		<input type="checkbox"/> サービス水準向上		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期						
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
実施予定時期						
具体的内容						